

# 芸術の秋に鉛筆画の大作に浸る 21世紀美術館で絵画鑑賞

## ひなの家押野通信第24号

秋晴れの日、利用者がハイキングを兼ねて金沢市の金沢21世紀美術館を訪れ、展示中の絵画展を見学しました。

車に分乗して20分ほどして美術館に到着。折から開催中の「吉村芳生展」を

鑑賞しました。

吉村氏は1950年、山口県生まれ。日常のありふ



「吉村芳生展」の作品を鑑賞する



ひなの家 押野

野々市市押野1-31  
電話076(287)5810

れた情景をモチーフに、明暗をオリジナルの手法で描いたモノクロ作品も色鉛筆で色鮮やかに描いた作品が特徴です。

会場には約300点が展示されていていました。利用者たちは一占つ丹念に見回っていました。特にバラやコスモス、フジを描いた大作の前では、じっくり見入っていました。

館外の庭には木々が紅葉を迎えており、利用者は秋の風情を楽しみました。



館外を散策する利用者

## 四季を撮る



### クリスマスムード高まる

クリスマスツリーが今年もフロアに登場。2m以上もあるツリーに、利用者が色とりどりのリボンやボール、ドライフラワー、リースを飾り付けた。イルミネーションを点灯すると、ツリーは幻想的な雰囲気にも包まれた。「楽しいクリスマスになればいいね」と男性利用者はツリーを見上げ、目を細めた。

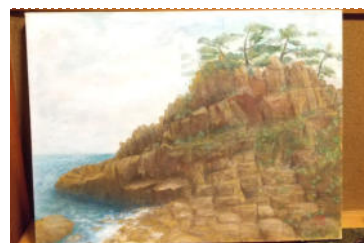


### 内山さん力作の日本画3点

利用者の内山節さんは、日本画が得意です。若いころから、教室に通って絵を

描き続けてきました。大好きなスイセンの花や風景が主なテーマ。今はあまり筆を手にしませんが、そ

れども、最近訪れた絵画展を見て「花びらを薄く描くのは難しい」と熱弁を奮っていました。この3点は内山さん宅の玄関や居間などに飾ってあります。





# 仮装しながら玉入れやパン食い競走

## ハロウィーン運動会で大歓声

ハロウィーンにちなんで、利用者が仮装をして参加する運動会が開かれました。

利用者は、チャイナドレスやワンピースなど奇抜な仮装や仮装をしました。お化けチームとコウモリチームに分かれて対戦。玉入れ競技は、大き

な口を開けたお化けの箱めがけて30秒間に入れた玉の数を競いました。

パン食い競走は、細いロープにぶら下げられたパンを早く食いちぎった方が勝ち。普段はおとなしい利用者が、この時は

かきは、恥ずかしさも忘れてがむしゃらにパンに

くらいついていました。

### 両チームが応援合戦

競技の途中で、応援タムがあり、両チームの代表が「フレ、フレ」と応援合戦を繰り広げ、盛り上げました。優勝はわずかの差で、



「お化けの口に玉入れ」



「パン食い競走」

## 外国人研修生がデザート作る 利用者は異国の味に満足



「デザート作るトウさん(左)とリスさん(右)」

お化けチームが勝ちました。秋田利恵施設長が、優勝チームに金メダル、準優勝チームに銀メダルを渡しました。

### 大カボチャも愛らしく

運動会には人の頭の数倍もある大きなカボチャも登場。重さをたずねるクイズをしました。重さ



「応援合戦」



「大カボチャも登場」

### 「デザート」



11月の1カ月間、ひなの家押野に研修に訪れたアリス学園生のベトナム出身のグエン・ティ・トウさん(23)は愛称トウさんとインドネシア出身のリズワン・

グナワンさん(21)は愛称リスさんが、利用者に母国のデザートを作ってくれました。

トウさんはベトナムの伝統菓子「チエチョイヌック」(あんをもち米粉でまぶし、ココナツミルクをかけた。リスさんは「マルタバック」(チーズ味のホットケーキ)。利用者は異国情緒あふれる味に満足そうでした。

### ◎編集後記

ベトナムとインドネシア出身の学生2人が研修に訪れた。いずれも明るく優しい若者。以前にも外国の若者が何人か研修で訪れたことがあった。今は県外の福祉施設で働いている者も。「日本でしっかり経験を積んで母国で介護の仕事をした」と目を輝かせていた。これから、つらいこと、思うようにならないこともあるだろう。「へじけるな、夢をあきらめな」とエールを送る。(浦上)